

☆1月の行事より☆

【なわとびが始まりました】

今年度も川西小学校でなわとびの取組みが始まりました！

「なわとび検定」では、高学年の検定委員や体育委員会の子どもたちが、他の子どもたちのなわとびの技を見てあげます。

「リズムなわとび」は、全校児童が長休みに運動場へ出て、音楽のリズムに合わせてなわとびを跳びます。

「なわとびがんばり隊」は1、2年生がなわとびをうまく跳ぶために5、6年生に教えてもらう取組みです。

休み時間には運動場に出ているなわとび台をつかって、楽しそうになわとびをする子どもたちをたくさん見かけます(^_^)

なわとびが得意な子も、ちょっと苦手かなと思う子も、みんながそれぞれ目標をもってなわとびに励んでいます☆



リズムに合わせてなわとびを跳んでいます♪



体育館ではなわとび検定が行われています。



6年生の検定委員が1年生を見てあげます。
やさしい声かけに1年生もがんばります！



運動場に置いている「なわとび台」を使うと
たかーく跳べます☆

《 阪神淡路大震災より30年 》

この1月17日で阪神淡路大震災より30年が経ちました。早朝5時46分に、兵庫県南部を中心に起こったこの大地震は、多くの人が被災し、たくさんの被害が出ました。

30年とも経つと当時のことを覚え、語り継ぐ人も少なくなっているということもニュースで聞きました。保護者の方でも当時はまだ生まれていなかったという方もおられるのではないのでしょうか。

阪神大震災以降も、東日本大震災や能登半島地震など大きな地震が起こり、大きな被害が出ています。

1月17日など大地震の日が近づくと、ニュースやインターネットなどで震災や防災についての報道、情報がよく取り上げられますが、普段はなかなか意識できない方も多いのではないかと思います。突然やってくる地震、各ご家庭で備えられることや心構えなどを話し合う機会にさせていただき、いざというときにどうするのかを考えていきたいものです。



【災害時に備えた備蓄品の例】

飲料水…一人1日3リットルを目安に、3日分を用意

食品…ご飯(アルファ米など一人5食分を用意)、ビスケット、板チョコ、乾パンなど、
一人最低3日分の食料を備蓄しておきましょう。

下着、衣類

トイレトーパー、ティッシュペーパーなど

マッチ、ろうそく、カセットこんろ



※非常に広い地域に被害が及ぶ可能性のある南海トラフ巨大地震では、「1週間分以上」の備蓄が望ましいとの指摘もあります。